

# Pioneer

USB/iPod 用トランスポート

## CD-7x

### 取扱説明書

※別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

**販売店様へ**  
接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。



### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

電話：☎ 0120-944-111 【一般電話】 044-572-8101 FAX：044-572-8103

<ご注意>

- 「0120」で始まる☎フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご利用できません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
- 修理に関しては、別添えの「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご参照ください。

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>  
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内お客様登録など

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2010

<KNAFX> <10E00000> <CRA4384-A>

# carrozzeria

## 安全のために必ずお守りください

### 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

 このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 このような絵表示は、必ず行っていただく強制的な内容です。

## 安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

### 警告

#### 【異常時の処置】

**故障のまま使用しない**  
  画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

**異常のまま使用しない**  
  万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

**ヒューズは規定容量のヒューズを使用する**  
  ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

## ご使用になる前に

### ■本取扱説明書について

本取扱説明書では、本機に接続可能なApple社製品を総称してiPod、USBポータブルオーディオプレーヤー/USBメモリーを総称してUSB機器と記載しています。

### ■本機について

本機は、IP-BUS入力/光デジタル入力を備えたパイオニア製メインユニット（RS-D7XⅡ、AXM-P01）用のiPod/USBトランスポートです。

- 本機は、オーディオファイルを取録・保存した、USB Mass Storage Class対応のポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリー/Dockコネクタ付きApple社製品を接続して、メインユニットから再生できます。
- 本機は、車室内での使用に限定して設計されています。
- 対応するUSB機器/Apple社製品について詳しくは、「使用できる機器について」をご覧ください。
- 本機が対応するオーディオファイルの形式は、WMA/MP3/AAC/WAVです。詳しくは、「USB機器で対応するオーディオファイルについて」をご覧ください。

### ■組み合わせるメインユニットについて

本機を接続する推奨メインユニットは「RS-D7XⅡ」、「AXM-P01」です。  
本書では、それぞれの推奨メインユニットと本機を接続した場合の操作を説明しています。  
●推奨メインユニット以外のメインユニットとの組み合わせは保障対象外となります。

### ■iPod/USB機器 接続時のご注意

●本機を使用してメインユニットとiPod/USB機器を接続すると、メインユニットはiPod/USB機器をマルチCDとして認識します。詳しくは「本機の動作について」をご覧ください。

### ■iTunesについて

iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。

### ■iPodについて



iPod は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod 専用 に接続するよう設

計され、アップルが定める性能基準を満たしていることとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

### ■iPhoneについて



iPhone は、Apple Inc. の商標です。

「Works with iPhone」とは、iPhone 専用 に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

### ■WMAについて



Windows Media、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。

## ご使用になる前に

### MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

### AACについて

AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。本機では、Ver. 9.1以前のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルを、AACファイルとして再生します。故障の原因となりますので、.m4a以外の拡張子の付いたAACファイルを再生しないでください。

### ご注意

- ・本機と組み合わせて使用しているときにiPod/USBのデータが消失しても、消失したデータの補償については、ご容赦ください。
- ・iPod/USBを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・本機と組み合わせて使用する場合、iPod/USBは必ず固定してください。iPod/USBが落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- ・iPod/USBの取り扱いについて詳しくは、iPod/USBの説明書をお読みください。

## iPod/USB機器の接続/取り外しについて

### ■ iPodの接続/取り外し

iPodを本機に接続するとiPodの電源がONになります。iPodは、いつでも本機から取り外すことができます。

### ■ USB機器の接続/取り外し

USB機器を接続します。USB機器は、いつでも本機から取り外すことができます。

### メモ

- iPodを本機に接続する前に、iPodからヘッドフォンを外してください。
- エンジンスイッチがACCまたはONになっている場合、iPod/充電機能があるUSB機器のバッテリーが充電されます。
- 「使用できる機器について」を参照して、対応するUSB機器をご使用ください。ただし、対応するUSB機器でも正しく動作しない場合があります。
- USB入力については、「本機を接続する」をご覧ください。

## 本機の動作について

本機をiPodやUSB機器に接続するとメインユニットはマルチCDとして認識します。iPodやUSB機器を操作するためにはマルチCDとして操作する必要があります。

### ■ メインユニットでiPodを操作する場合

メインユニットで表示可能なディスクの枚数、曲数は共に1～99までです。そのため、本機ではiPodのプレイリストを99曲ずつまとめ、疑似的にディスクとして扱います。これによって、iPodのプレイリスト内の再生可能な最大曲数は99ディスクx99曲=9801曲となります。詳細は次の表を参照してください。

マルチCDとしての再生曲数の表示	実際のiPod内の再生曲数
ディスク1 トラック1～99	トラック1～99
ディスク2 トラック1～99	トラック100～199
ディスク3 トラック1～99	トラック200～299

ディスク98 トラック1～99	トラック9602～9701
ディスク99 トラック1～99	トラック9702～9801

### ■ iPodを直接操作する場合

iPodを直接操作する場合、iPodのプレイリスト内のすべての曲を再生することができます。プレイリストの曲数が9801を超えたとき、9802曲目はディスク1として表示されます。詳細は次の表を参照してください。

マルチCDとしての再生曲数の表示	実際のiPod内の再生曲数
ディスク1 トラック1～99	トラック1～99
ディスク2 トラック1～99	トラック100～199
ディスク3 トラック1～99	トラック200～299

ディスク98 トラック1～99	トラック9602～9701
ディスク99 トラック1～99	トラック9702～9801
ディスク1 トラック1～99	トラック9802～9901
ディスク2 トラック1～99	トラック9902～10001

以降も同様の動作を繰り返します。

### ■ メインユニットでUSB機器を操作する場合

メインユニットではUSB機器内のフォルダを疑似的にディスクとして扱います。ディスクの順番はUSB機器内にフォルダが作成された順番になります。曲の再生順は曲がフォルダへ登録された順番になります。また、USB機器に登録可能な最大フォルダ数は99フォルダ、1フォルダに登録可能な最大曲数は99曲です。

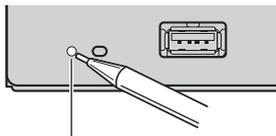
## 本機のリセットについて

本機を初期状態に戻すことができます。リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態(ご購入直後の状態)に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 本機の接続が終わったあと
- 本機が正しく動作しないとき
- ディスプレイが正しく表示されないとき

### 1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す。



リセットボタン

## おもな仕様

### 共通部

使用電源:	DC14.4 V(10.8 V～15.1 V使用可能)
アース方式:	マイナスアース方式
消費電流:	200 mA
外形寸法:	116 mm(W)×37 mm(H)×62 mm(D)
質量:	365 g

### USB部

USB規格:	USB2.0 Full Speed
最大供給電流:	500 mA
USBクラス:	マストレージクラス
ファイルシステム:	FAT16、FAT32
最大ファイル数:	9 801
最大フォルダ数:	99
デコーダー仕様:	MPEG-4 AAC (iTunesでエンコードされたもののみ)
MP3 デコーディングフォーマット:	MPEG-1&2 AUDIO LAYER-3 (Windows Media Player)
WMA デコーディングフォーマット:	Ver. 7、7.1、8、9、10、11 (2 ch audio)
AAC デコーディングフォーマット:	MPEG-4 AAC
WAV シグナルフォーマット:	Linear-PCM、MS ADPCM

### オーディオ部

チャンネル数:	2 (ステレオ)
---------	----------

### 付属品

面ファスナ (かたい):	2
面ファスナ (やわらかい):	2
取扱説明書:	1
保証書:	1
安全上のご注意:	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内:	1

## 基本操作

(iPod/USB機器接続時にメインユニットから操作します。)

ここだけの操作で、iPod/USB機器に入っている曲を聞くことができます。

### iPod/USB機器 再生のON/OFF

#### 1 本機にiPod/USB機器が接続されていることを確認する

#### 2 ソースをマルチCDに切り換える

(RS-D7XⅢの場合)  
CDボタンまたはSOURCEボタンを押す。

### メモ

- タイトル画面の後、マルチCD動作画面に切り換わります。リモートコントローラーのカバーの開閉により、メニュー表示のオープン状態とクローズ状態が切り換わります。

- iPod/USB機器が接続されていることを確認してください。iPod/USB機器が接続されていない場合は「NO DISC」と表示されます。

### (AXM-P01の場合)

 または  ボタンを押す。

### 音量調節(ボリューム)

#### (RS-D7XⅢの場合)

#### 1 VOLUMEを回す

右回し: 音量を上げるとき  
左回し: 音量を下げるとき

#### (AXM-P01の場合)

#### 1 / (VOLUME) を押す

 : 音量を上げるとき  
 : 音量を下げるとき

### ディスクを選ぶ(ディスクナンバーサーチ)

ディスクナンバーサーチには、次の2つの方法があります。

### ■ 順送り/逆送り

ディスク番号の順送り/逆送りで、ディスクを選びます。

#### 1 順送り / 逆送りで選ぶ

(RS-D7XⅢの場合)

 /  ボタンを押す。

(AXM-P01の場合)

サムパッドを上下に操作する。

### ■ ディスク番号を直接指定する

### メモ

- 本機では、以下のまとまりを擬似的にディスクとして認識します。USB接続時: フォルダ iPod接続時: プレイリスト内の99曲 詳しくは「本機の動作について」をご覧ください。

### ご注意

- ディスク番号は1～12枚目まで直接指定することができます。13枚目以降はディスク番号を直接指定することはできません。

#### (RS-D7XⅢの場合)

RS-D7XⅢでは、リモートコントローラーのカバーを開けて、メニュー表示をオープン状態にしたときに操作することができます。聞きたいディスクを直接呼び出します。

#### 1 ディスク番号表示にする

SHIFT ボタンを押す。

#### 2 ディスク番号を切り換る

SHIFT ボタンを押すごとに1～6枚目→7～12枚目→機能表示へ切り換わりませ

#### 3 ディスクを選ぶ

ファンクションボタン / 1～6を押す。

#### (AXM-P01の場合)

#### 1 ディスク番号表示にする

 を押す。

#### 2 ディスク番号を切り換る

 を押すごとに1～6枚目→7～12枚目→機能表示へ切り換わりませ

#### 3 ディスクを選ぶ

 ～  を押す。

## 基本操作

### 4 ディスク番号表示を解除します

Ⓜを押す。機能表示に戻ります。

**選曲する(トラックサーチ)、早送り/早戻しをする**

### 1 選曲する (トラックサーチ)、早送り / 早戻しをする。

(RS-D7X Ⅲの場合)

- ◀または▶ボタンを押す
- ▶：次の曲を選ぶとき（または早送り）
- ◀：前の曲を選ぶとき（または早戻し）

(AXM-P01 の場合)

サムパッドを左右に操作する
右：次の曲を選ぶとき（または早送り）
左：前の曲を選ぶとき（または早戻し）

(iPod 機器 接続時のみの機能です)

選曲と早送り/早戻しの使い分け	
聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り	0.5 秒以上押し続けている間

(USB 機器 接続時のみの機能です)

選曲と早送り/早戻しの使い分け	
聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り (2 倍速)	0.5 秒以上押し続けている間
曲の早送り (6 倍速)	2 秒以上押し続けている間
曲の早送り (10 倍速)	5 秒以上押し続けている間

## 再生を一時停止する

(iPod/USB 機器 接続時にメインユニットから操作します。)

再生を一時停止（ポーズ）することができます。

### 1 再生を一時停止する

(RS-D7X Ⅲの場合)

■ リモートコントローラーオープン状態での操作
ファンクションボタン /4 を押すごとに、ON/OFF が切り換わります。

🔍 **メモ**

- ポーズ中は、曲送り/曲戻しの機能のみ操作できます。

■ リモートコントローラークローズ状態での操作
PAUSE ボタンを押すごとに、ON/OFF が切り換わります

(AXM-P01 の場合)

サムパッドを長く押し、機能選択モードに切り換えます。

Ⓜを押すごとに、ON/OFF が切り換わります。

## タイトル表示を切り換える

(iPod/USB 機器 接続時にメインユニットから操作します。)

iPod/USB 機器に記録されているタイトルなどを表示できます。また、隠れている文字を順に表示させる事もできます。

🔍 **ご注意**

- 一度に表示できるのは、全角で10文字、半角で20文字までです。
- タイトルを入力していないiPod/USB機器は、何も表示しません。
- iPodを再生中に、iPodを操作して新たにファイルを連曲するとメインユニットのタイトル表示が自動で更新されない場合があります。その場合はDISPLAY ボタン (RS-D7XⅡ)、Ⓜ (DISPLAY) (AXM-P01) を押してタイトルを更新してください。

### ■ 表示切換

### 1 表示を切り換える

(RS-D7X Ⅲの場合)

DISPLAY ボタンを押すごとに、以下のように切り換わります。
ディスクタイトル（ディスク名）→ ディスクアーティストネーム（歌手名）→ トラックタイトル（曲名）→ トラックアーティストネーム（歌手名）→ ディスクタイトルに戻る。

(AXM-P01 の場合)

Ⓜ (DISPLAY) を押すごとに、以下のように切り換わります。
ディスクタイトル（ディスク名）→ ディスクアーティストネーム（歌手名）→ トラックタイトル（曲名）→ トラックアーティストネーム（歌手名）→ ディスクタイトルに戻る。

### ■ 隠れているタイトルを表示する

### 1 スクロールして表示する

(RS-D7X Ⅲの場合)

DISPLAY ボタンを 2 秒以上押します。(AXM-P01 の場合)

Ⓜ (DISPLAY) を 2 秒以上押します。

## フォルダから聞きたい曲をさがす

(iPod/USB 機器 接続時にメインユニットから操作します。)

フォルダを移動して、聞きたい曲を選ぶことができます。

🔍 **メモ**

- 本機ではiPodのプレイリスト内の99曲ずつ/USBのフォルダをそれぞれディスクとして認識します。詳しくは「本機の動作について」をご覧ください。

### 1 ディスクリストを表示する

(RS-D7X Ⅲの場合)

ファンクションボタン /5 を押す。ディスクリスト画面に切り換わり、ディスクタイトルが表示されます。

(AXM-P01 の場合)

Ⓜを押す。ディスクリスト画面に切り換わり、ディスクタイトルが表示されます。

### 2 再生したいディスクを選ぶ

(RS-D7X Ⅲの場合)

◀/▶ボタンを押す。

(AXM-P01 の場合)

サムパッドを左右に操作する。

### 3 選んだディスクを再生する

(RS-D7X Ⅲの場合)

▲ボタンを押す。

(AXM-P01 の場合)

サムパッドを上 to 操作する。

### 4 ディスク番号表示を解除します

(RS-D7X Ⅲの場合)

RETURN ボタンを押す。機能表示に戻ります。

(AXM-P01 の場合)

Ⓜを押す。機能表示に戻ります。

## 再生範囲を切り換える

(USB 機器 接続時のみメインユニットから操作します。iPod 接続時は iPod 側からのみ操作します。)

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、選んだリストを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

### ■ USB機器 接続時

### 1 再生範囲を切り換えます

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。(RS-D7X Ⅲの場合)

再生範囲	リピート再生の内容
マルチ CD リピート (MAGA)	USB 機器内のすべての曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート (D.REPEAT)	再生中の曲を含むフォルダを繰り返し再生します
トラックリピート (REPEAT)	再生中の曲を繰り返し再生します。

ファンクションボタン /1 を押すごとに次のように切り換わります。

マルチ CD リピート (MAGA) → トラックリピート (REPEAT) → ディスクリピート (D.REPEAT) → マルチ CD リピート (MAGA) に戻る

(AXM-P01 の場合)

再生範囲	リピート再生の内容
マルチ CD リピート (P.MODE MCD)	USB 機器内のすべての曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート (P.MODE D.REPEAT)	再生中の曲を含むフォルダを繰り返し再生します
トラックリピート (P.MODE REPEAT)	再生中の曲を、繰り返し再生します。

サムパッドを長く押し、機能選択モードに切り換えます。Ⓜ を押すごとに次のように切り換わります。

マルチ CD リピート (P.MODE MCD) → トラックリピート (P.MODE REPEAT) → ディスクリピート (P.MODE D.REPEAT) → マルチ CD リピート (P.MODE MCD) に戻る

### ■ iPod接続時

iPod 側でリピート機能を操作してください。

## いつもと違う曲順で聞く

(USB 機器 接続時のみメインユニットから操作します。iPod 接続時は iPod 側からのみ操作します。)

いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

### ■ USB機器 接続時

### 1 再生範囲を切り換えます

「再生範囲を切り換える」をご覧ください。

### 2 ランダム再生を始めます

(RS-D7X Ⅲの場合)

ファンクションボタン /2 を押すごとに、ランダム再生の ON/OFF が切り換わります。

(AXM-P01 の場合)

サムパッドを長く押し、機能選択モードに切り換えます。Ⓜ を押すごとに、ランダム再生の ON/OFF が切り換わります。

ON にすると、次の曲から、ランダムに再生されます。

🔍 **メモ**

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダム再生設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってランダム再生が行われます。RS-D7xⅡ：ディスクリピート(D.REPEAT) AXM-P01：ディスクリピート(P.MODE D.REPEAT)

### ■ iPod接続時

iPod 側でシャッフル機能を操作してください。

## 聞きたい曲やフォルダをさがす

(USB 機器 接続時のみメインユニットから操作します。)

USB 機器に記録されているすべての曲の初めの部分だけを、約 10 秒間ずつ次々に聞くことができます。

### 1 スキャン再生を始める

(RS-D7X Ⅲの場合)

ファンクションボタン /3 を押すごとに、スキャン再生の ON/OFF が切り換わります。

(AXM-P01 の場合)

サムパッドを長く押し、機能選択モードに切り換えます。Ⓜ を押すごとに、スキャン再生の ON/OFF が切り換わります。

ON にすると、曲の始めから約 10 秒間が徐々に再生されます。

🔍 **メモ**

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。
- 再生範囲がトラックリピート、ディスクリピートのときにスキャン再生設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってスキャン再生が行われます。RS-D7xⅡ：マルチCDリピート(MAGA) AXM-P01：マルチCDリピート(P.MODE MCD)

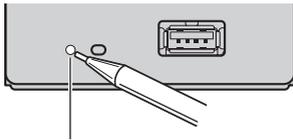
## 動作を確認する

接続・取付が終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

### 1 接続・取付をもう一度確認します

接続・取付に誤りがないか、各コネクタが確実に接続されているか、もう一度目で見て確認してください。

### 2 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

### 3 車のエンジンをかけます



### 4 本機の動作を確認します

本機およびシステムが正常に動作することを確認してください。動作しない場合は、接続に誤りがないかもう一度チェックしてください。

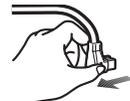
## 接続の前に知ってほしいこと

### 接続上のご注意

本機と他の製品では同じ動きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ動きのコードどうしを接続してください。

### コネクタの着脱のしかた

- コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

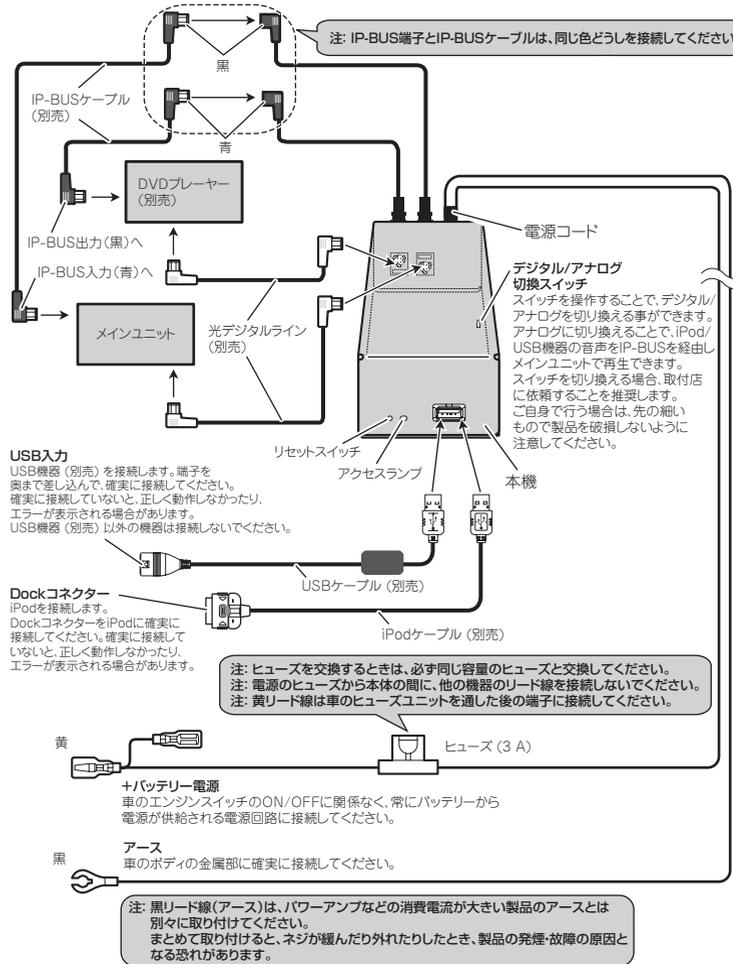


### 接続のポイント

#### IP-BUS/光デジタルラインの接続について

- IP-BUSケーブルおよび光デジタルケーブルのコネクタは接続に間違いがないように色分けされています、同じ色どうしを接続してください。

## 本機を接続する



## 取り付けの前に知って欲しいこと

### ■ 取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。
- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
  - ・ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当たる場所。
  - ・ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかりやすい場所には取り付けしないでください。
- スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。
- フロントシート下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

### ■ 取り付けのポイント

#### 取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

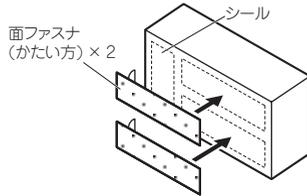
#### 面ファスナを貼り付ける前に

- 面ファスナを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。また、面ファスナの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

## 本機を取り付ける

### 1 面ファスナ(かたい方)を本機の底面に貼り付ける

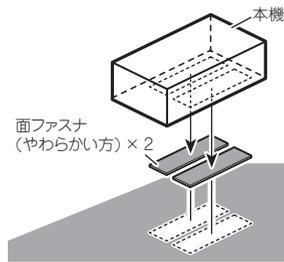
面ファスナを貼り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



### ■ メモ

- シールには、製品の型名、シリアル番号が記載されています。面ファスナを貼るときは、シールを隠さないように貼り付けてください。

### 2 面ファスナ(やわらかい方)を取り付け場所に貼り付ける



### ■ 知っているると便利

- 面ファスナ(かたい方)がカーマットに貼りつく場合は、カーマットに直接取り付けることもできます。この場合、面ファスナ(やわらかい方)は使用しません。

## 使用できる機器について

### ■ 使用できるUSB機器について

- ー規格: USB 2.0 Full Speed
  - ー供給電流: 500 mA
  - ーUSBクラス: マスストレージクラス
  - ーファイルシステム: FAT16、FAT32
- USB機器を接続するには、USB延長ケーブル(CD-U51E)が必要です。

### ■ ご注意

- パーティションを作ったUSB機器は使用できません。
- 使用するUSB機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USBハブを介して、USB機器を接続することはできません。

### ■ 使用できるApple社製品について

本機は以下のiPodに対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

- ー第5世代iPod nano: Ver. 1.0.2
- ー第4世代iPod nano: Ver. 1.0.4
- ー第3世代iPod nano: Ver. 1.1.3
- ー第2世代iPod touch: Ver. 3.1.3
- ー第1世代iPod touch: Ver. 3.1.3
- ーiPod classic: Ver. 1.1.2
- ーiPhone 3GS: Ver. 3.1.3
- ーiPhone 3G: Ver. 3.1.3

最新の情報についてはカロッツェリアホームページ(<http://carrozzeria.jp>)をご覧ください。操作方法は、iPodの世代やソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。iPodを接続するには、iPod用USB変換ケーブル(CD-U50)が必要です。

### ■ ご注意

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせる使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPodの取り扱いについて詳しくは、iPodの説明書をお読みください。

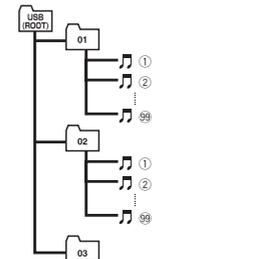
## USB機器内のフォルダとファイルについて

### オーディオファイルについて

- 再生できるファイルの合計は最大9801個です。
- 再生できるフォルダの合計は最大99個です。
- 画像データを含むファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(wma, mp3, m4a, wav)を含めて半角で64文字です。ただし文字コードの種類によって、最大表示文字数は半角で32文字になります。
- 表示される文字列に全角が含まれる場合、文字はすべて全角で表示されます。文字列が半角のみの場合はすべて半角で表示されます。
- ファイルによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。

### フォルダとファイルの構成について

- USBメモリー内のフォルダとファイルの構成は、下図のようになります。USBポートダブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。



- 01 ~ 03はフォルダ番号の割り当て、① ~ ③は曲の再生順の例です。フォルダ番号はフォルダの作成順で割り当てられます。曲の再生順は曲がフォルダへ登録された順番になります。一度に複数の曲をフォルダに登録した場合、再生順はご使用のパソコンの環境に依存します。また、USBに登録可能な最大フォルダ数は99フォルダ、1フォルダに登録可能な最大曲数は99曲です。

## USB機器で対応するオーディオファイルについて

### WMA とは？

● 「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7 以降を使用してエンコードすることができます。

#### ⓘ ご注意

● WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

● WMA ファイルをエンコードしたWindows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

● 画像データを含むWMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

### 再生できるWMAファイルについて

#### ⓘ ご注意

● WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma) を付けてください。

● 本機は、拡張子(.wma) が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma) を付けないでください。

● 本機では、Windows Media Player Ver.7/7.1/8/9/10/11 を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

● 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32 kHz ～ 48 kHzです。

● 一般的にWMAファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) の48 kbps ～ 320kbpsまたはVBR (可変ビットレート) で記録されたWMAファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいたかためには、できるだけ高いビットレートで記録されたWMAファイルの使用を推奨します。

● USBポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリーに、Windows Media DRM 9/10で保護されたファイルを取録して再生したときは、“再生できません”と表示され、そのファイルの再生はストップされます。再生を再開するためには、保護されていないファイルを選曲してください。

● USBポータブルオーディオプレーヤーまたはメモリー内のすべてのファイルがWindows Media DRM 9/10で保護されている場合は、“再生できません”と表示されます。すべてのファイルが再生されません。

● この製品は、下記の形式には対応していません。  
・Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)  
・Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)  
・Windows Media Audio 9 Voice

### MP3 とは？

● 「MPEG Audio Layer-3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

### 再生できるMP3ファイルについて

#### ⓘ ご注意

● MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3) を付けてください。

● 本機は、拡張子(.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3) を付けないでください。

● ID3 tagのVer. 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。

● サンプリング周波数が32 kHz ～ 48 kHzのMP3ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。(なお、再生可能なサンプリング周波数は16 kHz ～ 48 kHzです。)

● 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) の8 kbps ～ 320 kbpsまたはVBR (可変ビットレート) で記録されたMP3ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいたかためには、128 kbps以上のビットレートで記録されたMP3ファイルの使用を推奨します。

### AAC とは？

● 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

### 再生できるAACファイルについて

#### ⓘ ご注意

● AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a) を付けてください。

● 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a) が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a) を付けないでください。

● 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

● AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。

● 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は、8 kHz ～ 48 kHzです。

● 一般的にAACファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps ～ 320 kbpsのステレオビットレートで記録されたAACファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいたかためには、できるだけ高いステレオビットレートで記録されたAACファイルの使用を推奨します。

● iTunesミュージックストアで購入された楽曲(拡張子は.m4p) は、USBポータブルオーディオプレーヤー /USBメモリーに記録して再生することはできません。

● この製品は、USB機器に記録したApple ロスレス・エンコーダには対応していません。

### WAV とは？

● 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

### 再生できるWAVファイルについて

#### ⓘ ご注意

● WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav) を付けてください。

● 本機は、拡張子(.wav) が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子(.wav) を付けないでください。

● 本機は、LPCM形式およびMS ADPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。

● 本機は、LPCM形式では16 kHz ～ 48 kHz、MS ADPCM形式では22.05 kHz ～ 44.1 kHzのサンプリング周波数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。

● 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

● WAVファイルは一般的に、量子化ビット数が高いほど音質が良くなります。本機は、LPCM形式で8 bitまたは16bit、MS ADPCM形式で4 bitの量子化ビット数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをお勧めします。

## iPodで対応するオーディオファイルについて

本機では、ファイルの形式を問わず iPod に登録されているすべてのオーディオファイルを再生する事ができます。

## 故障かな?と思ったら

ちょっとした接続・設定のミスなどで故障と間違えることがあります。故障かな?と思ったらときは、次のことを行ってください。

### 1 接続・設定にミスがないかを、もう一度確認してください

### 2 接続・設定にミスがなかった場合は

保証書とアフターサービス”の項をお読みになり、修理を依頼してください。分解することはおやめください。

### ■共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。	

### ■iPod

症状	原因	処置
iPod が正常に動作しない。	コネクタが正しく接続されていない。	コネクタを一度はずし、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。

## こんなメッセージが表示されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

### ■USB

メッセージ	原因	処置
「再生できません」	USB 機器内のすべてのWMA ファイルがWindows Media DRM 9/10 で保護されている。	Windows Media DRM 9/10 で保護されたファイルを再生した。Windows Media DRM 9/10 で保護されたファイルを適切に選曲してください。
「NO DISC」	何も収録・保存されていないUSB 機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルを取録・保存された USB 機器を接続してください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くの修理受付センター（沖縄のみ 沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くの修理受付センター（沖縄のみ 沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ご質問、ご相談は

カーステレオに関するご質問、ご相談はバイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。